

阿部肇一先生 略年譜（敬称略）

本籍 埼玉県大宮市大成町二丁目四〇二番地

現住所 埼玉県浦和市神明一丁目一五番一七号

一九二八（昭和 三）年二月一日 埼玉県大宮市大成町二丁目四〇二番地にて、父道山、母その子の長男として生る。

一九三四（昭和 九）年 四月 埼玉県北足立郡村立日進尋常小学校に入学する。

一九四〇（昭和 十五）年 四月 埼玉県立粕壁中学校に入学する。

一九四四（昭和 十九）年 四月 駒沢大学専門部地理歴史学科に入学する。

一九四七（昭和 二十二年）年 三月 文部省中学校教員歴史学科免許状を取得する。

一九四七（昭和 二十二年）年 四月 駒沢大学専門部地理専修科に入学する。

一九四八（昭和 二十三年）年 三月 駒沢大学同部同専修科を修了する。

一九四八（昭和 二十三年）年 三月 文部省中等教員地理学科免許状を取得する。

一九四八（昭和 二十三年）年 四月 駒沢大学学部人文学科に入学する。

一九五〇（昭和 二十五年）年 三月 同大学同学科を中退する。

一九五〇（昭和 二十五年）年 四月 東京文理科大学歴史学科に入学し、東洋史学を専攻する。

一九五三（昭和 二十八年）年 四月 東京文理科大学大学院研究科に入学する。

一九五八（昭和三十三年）三月 同大学大学院を満期修了する。

一九五八（昭和三十三年）四月 駒沢大学文学部歴史学科助手となる。

一九五八（昭和三十三年）十月 荒井悦子と結婚する。

一九五九（昭和三十四年）四月 駒沢大学文学部歴史学科講師となる。

一九六一（昭和三十六年） 東京文理科大学賞を授与される（主題・東洋史上の禅宗の展開）。

一九六三（昭和三十八年）四月 駒沢大学文学部歴史学科助教となる。

一九六七（昭和四十二年）三月 文学博士（東京教育大学）の学位を授与される（主題・中国禅宗史の研究）。

一九六九（昭和四十四年）四月 駒沢大学文学部歴史学科教授となる。

一九六九（昭和四十四年）九月 曹洞宗印度仏蹟納経使節団埼玉県代表となる。

一九七一（昭和四十六年）四月 立正大学文学部非常勤講師となる（昭和五十三年まで）。

一九七三（昭和四十八年）七月 フィンランド曹洞宗仏書贈呈使節団に参加する。

一九七四（昭和四十九年）七月 駒沢大学北海道教養部に非常勤講師として出張する。

一九七八（昭和五十二年）四月 熊本大学教育学部非常勤講師となる。

一九七九（昭和五十四年）十二月 駒沢大学文学部長となる。

一九八一（昭和五十六年）九月 駒沢大学百年史編纂委員長に任命される。

一九八二（昭和五十七年）十月 駒沢大学より永年勤続表彰を受く。

一九八四（昭和五十九年）八月 社会文化史学会会長となる。

一九八五（昭和六十年）四月 駒沢大学副学長となる。

一九八七（昭和六十二年）二月 文部省学術審議会専門委員（科学研究分科会）に任命される（任期昭和六十四年一月三

十一日まで。

一九八七（昭和六十二）年 四月 駒沢大学国内研究派遣員となる（筑波大学）。

一九九三（平成 五）年 四月 駒沢大学長（同理事）となる。

一九九八（平成一〇）年 三月 駒沢大学定年規程により退職する。

一九九八（平成一〇）年 五月 駒沢大学名誉教授の称号を受ける。

阿部肇一先生 著作目録

編著書（単著）

『中国禅宗史の研究』 一九六三（昭和三十八）年 三月

『禅の世界―公案―』 一九六六（昭和四〇）年 六月

『増訂・中国禅宗史の研究』 一九八六（昭和六十二）年 二月

『禅宗社会と信仰』

（続中国禅宗史の研究） 一九九三（平成 五）年 五月

（共編著）

『アジア歴史事典』 一九五九（昭和三十四）年 六月

『駒沢大学八十年史』 一九六二（昭和三十七）年一〇月

誠信書房

筑摩書房

研文出版

近代文芸社

平凡社

駒沢大学八十年史編纂委員会